

発表要旨

神奈川県では従来から古墳時代中期に住居址が極端に減少することが指摘されてきた。その理由については、中期になると遺跡の立地が変化し、まだ調査されていない低地部に遺跡が存在するため、見かけ上少なくなっていると説明されることが多かった（和島1958他）。

しかし中期の遺跡を集成してみると、低地部に立地する遺跡も一部に存在するが、台地・段丘の辺縁に立地するものが主であることが分かる。この傾向は前期の遺跡でも変わらない（図1）。ただし多摩川左岸では、立地の傾向がやや異なり、前期は武蔵野段丘面上に、中期は立川段丘面上に多く遺跡が立地する（図2）。またほとんどの遺跡で前期末～中期初頭の段階で集落が断絶し、途切れることなく集落の作られ続ける遺跡はわずかである（図6）。中期の住居址数は少ないが、比較的住居址が多く検出される遺跡はまとまって立地しており（図3）、特に多摩川左岸では多くの住居址が検出されている。また、これは古墳の多く造られる地域と重なる（図4）。

多摩川・相模川流域では、前期に盛んに造られた前方後円墳が中期になると造られなくなり、かわりに帆立貝式古墳や大型の円墳が造られるようになり、古墳の立地、副葬品も変化する。この変化は、畿内や全国的な古墳の変化の一環と考えられる。古墳の変化の理由としてヤマト政権による古墳の築造の「規制」（小野山1970）が考えられる。またこの古墳の変化は前期末～中期初頭に住居址が断絶する傾向とよく一致する。集落の断絶は古墳同様、ヤマト政権の再編によるものであり、その結果多摩川右岸・左岸における集落遺跡の極端な減少が起こったのではないだろうか。

中期の遺跡で鉄製品の出土した遺跡の多くは多摩川左岸に集中している（図5）。この地域には野毛大塚古墳が存在し、ヤマト政権との強い関係が指摘されているが（野毛大塚古墳調査会1999）、その中で、このような豊富な鉄製品を入手することが出来たのだろう。鉄製農具の画期は古墳時代中期中葉にあったとされるが（都出1989）、それら中央からもたらされた最新の製品と技術により、中期に立川段丘面の開発が進んだ結果、この地域では前期と中期で遺跡の立地が異なるのだろう。

今回は多摩川・相模川流域で古墳時代中期の様相を追ったが、古墳時代中期の他地域の様相も分析し、比較を行う中で多摩川・鶴見川流域の様相をよりはっきりさせ、ヤマト政権から地方への働きかけだけでなく、地域からの「能動的」働きかけについても考えていきたい。

主要参考文献

- 甘粕健 1965 『三殿台』横浜市教育委員会
- 上本進二 1992 古墳時代前期～中期の相模を襲った地震と災害 『神奈川考古』28 神奈川考古同人会
- 小野山節 1970 「五世紀における古墳の規制」『考古学研究』第16巻3号
- 田中晋作 2001 『百舌鳥・古市古墳群の研究』
- 田中裕 2003 五領式から和泉式への転換と中期古墳の成立『研究報告』第11集 帝京大学山梨文化財研究所
- 都出比呂志 1989 『日本農耕社会の成立過程』岩波書店
- 西川修一 1992 古墳時代の集落『かながわの考古学』第2集 神奈川県立埋蔵文化財センター
- 野毛大塚古墳調査会 1999 『野毛大塚古墳』世田谷区教育委員会
- 長谷川厚 1999 神奈川県における古墳時代中期の土器について『東国土器研究』第5号 東国土器研究会
- 和島誠一 1958 第三章 古墳時代『横浜市史』第1巻 横浜市
- 和田晴吾 1994 古墳築造の諸段階と政治的階層構成 『ヤマト王権と交流の諸相』名著出版

卒業論文章立て

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 1. はじめに | 2-4. 検出される住居址数の少なさと遺跡の集中 |
| 1-1. はじめに | 2-5. 中期の古墳と集落の立地の関係 |
| 1-2. 過去の研究 | 3. 考察 |
| 1-3. 研究の意義 | 3-1. 前期から中期の古墳の変化と集落 |
| 1-4. 方法 | 3-2. 集落遺跡出土の鉄製品について |
| 2. 分析 | 4. 終わりに |
| 2-1. 多摩川・相模川流域における集落遺跡の立地の傾向 | 5. 参考文献 |
| 2-2. 同一遺跡内での立地の変化について | |

表1. 中期住居址検出遺跡とその立地

所在地	遺跡名	住居址数	立地	所在地	遺跡名	住居址数	立地
厚木市	長谷曾野遺跡	2	丘陵斜面	横浜市	稲ヶ原遺跡 D 地点	1	台地上
厚木市	金田前河内遺跡	1	台地上	横浜市	三枚町遺跡	10	台地上
厚木市	長谷清水遺跡第3地点	1	丘陵斜面	横浜市	西ノ谷貝塚	6	台地上
厚木市	林北遺跡	1	沖積低地	横浜市	矢崎山遺跡	不明	台地上、台地斜面
厚木市	温水長久保遺跡	4	丘陵上	横浜市	けんか山遺跡	1	台地上
厚木市	船子宮の里第2地点	1	丘陵斜面	横浜市	受地だいやま	3	丘陵上
厚木市	子の神遺跡	5	台地上	横浜市	花見山遺跡	1	台地上
厚木市	川田前遺跡	5	自然堤防～後背湿地上	横浜市	成美学園遺跡	2	台地上
厚木市	曾野 No.1 遺跡	3	丘陵斜面	横浜市	梶山北遺跡	2	台地上
伊勢原市	石田・峯遺跡	24	台地上	横浜市	東原遺跡	3	段丘上
伊勢原市	田中・万代遺跡	3	低地と台地の間	横浜市	長者原遺跡	1	低位段丘上
伊勢原市	三ノ宮・下谷戸遺跡	2	台地上	横浜市	桂台北遺跡	1	台地上
海老名市	相模国分僧寺跡	7	台地上	横浜市	宿根北遺跡	1	段丘上
海老名市	相模国分尼寺北方遺跡	2	台地上	横浜市	鹿ヶ谷遺跡	2	台地上
小田原市	千代北町遺跡	2 以上	台地上	秦野市	根丸島遺跡	7?	台地上
小田原市	三ツ俣遺跡	5	台地から海への傾斜	狛江市	和泉遺跡	3	立川段丘面上
鎌倉市	手広八反目遺跡	3	谷戸内	狛江市	田中・寺前遺跡	1	立川段丘面上
鎌倉市	台山藤源治遺跡	4	台地斜面	世田谷区	下神明遺跡	2	武蔵野段丘面上
川崎市	長尾台遺跡	1	台地上	世田谷区	中野田遺跡	7	立川段丘面上
川崎市	薬師院裏遺跡	1	台地上	世田谷区	喜多見陣屋遺跡	15	立川段丘面上
川崎市	神庭遺跡	12?	台地上	世田谷区	三島野屋敷・下覚東南遺跡	1	立川段丘面上
川崎市	末長遺跡	5	台地上	世田谷区	宮之原・相之原遺跡	28	立川段丘面上
川崎市	影向寺遺跡	2	台地上	世田谷区	喜多見中通南遺跡	7	立川段丘面上
川崎市	新作小高台遺跡	10	台地上	世田谷区	喜多見中通西遺跡	3	立川段丘面上
川崎市	向原土地区画整理事業地内遺跡	1	丘陵上	世田谷区	祖師谷大道北遺跡	4	武蔵野台地上
逗子市	(沼間三丁目遺跡群)菅ヶ谷台地	1	丘陵上	世田谷区	堂ヶ谷戸遺跡	6	武蔵野台地上
茅ヶ崎市	浜之郷西ノ谷上遺跡	1	自然堤防上	世田谷区	下山北遺跡	1	武蔵野段丘面上
秦野市	下大槻峯遺跡	1	台地上	調布市	本村遺跡	1	立川段丘面上
平塚市	桜畑遺跡	6	台地上	調布市	調布岡遺跡	1	沖積微高地上
平塚市	南原 C 遺跡	3 以上	砂州上	調布市	上ヶ給遺跡	21	立川段丘面上
平塚市	山王久保遺跡	1	台地上	八王子市	船田遺跡	4	立川段丘面上
平塚市	真田・北金目遺跡群	33	台地上	日野市	日野吹上遺跡	9	段丘上
平塚市	高間原遺跡	10	台地上	日野市	姥久保遺跡	2	沖積低地上
藤沢市	(川名)清水遺跡	3	丘陵上	日野市	落川・一の宮遺跡	6	沖積微高地上
藤沢市	本入遺跡	2	段丘上	日野市	南広間地遺跡	4	沖積微高地、沖積低地
藤沢市	大庭城山	1	台地上	八王子市	船田遺跡	4	段丘上
横須賀市	茅山貝塚	2	台地上	八王子市	尾崎遺跡	3	台地上
横須賀市	(佐原)泉遺跡	6	丘陵上	八王子市	滝山高燥遺跡	1	丘陵上
横須賀市	佐原城山遺跡	1	台地上	八王子市	太陽の丘遺跡	5	丘陵上
横浜市	殿ヶ谷遺跡	4	台地上	町田市	小山田遺跡群 No.12 遺跡	1	台地上

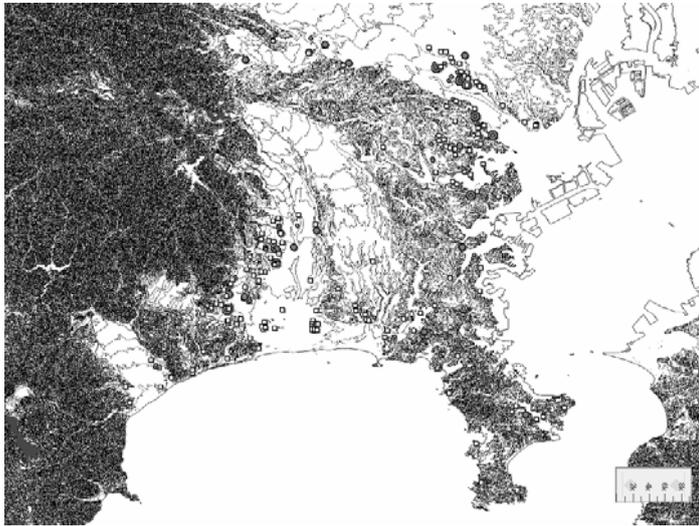


図1. 前期・中期住居址検出遺跡

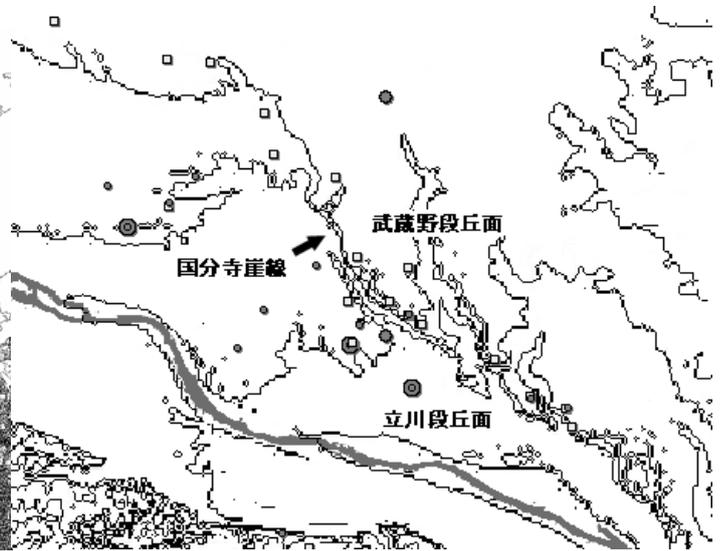


図2. 多摩川左岸の前期・中期住居址検出遺跡



図3. 中期の集落遺跡の集中

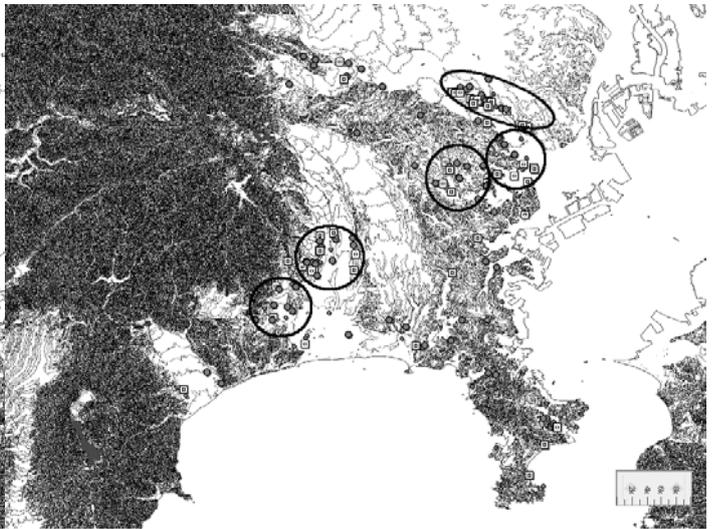


図4. 中期の古墳と集落の立地

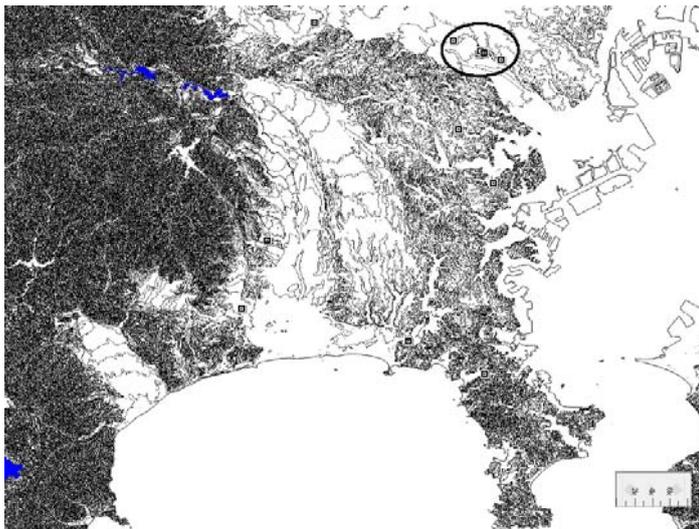


図5. 鉄製品出土遺跡

- 凡例
- 中期住居址検出10軒以上
 - 中期住居址検出4~8軒
 - 中期住居址検出3軒以下
 - 中期遺構(住居址以外)検出
 - ◎ 中期遺物のみ出土
 - ★ 中期祭祀遺跡
 - 前期住居址検出遺跡
 - 古墳
 - 鉄器出土遺跡

遺跡名	前期末	I	II	III	IV
千代北町第Ⅶ地点					
三ツ俣遺跡					
長谷曾野遺跡					
林北遺跡					
船子宮の里第2地点					
子の神遺跡					
曾野 No.1 遺跡					
石田・峯遺跡					
愛甲宿遺跡					
田中・万代遺跡					
三ノ宮・下谷戸遺跡					
根丸島遺跡					
桜畑遺跡					
山王久保遺跡					
真田・北金目第5区					
真田・北金目第6区					
真田・北金目第7区					
高間原遺跡					
相模国分僧寺跡					
相模国分尼寺北方遺跡					
浜之郷西ノ谷上遺跡					
川名清水遺跡					
本入遺跡					
大庭城山					
手広八反目遺跡					
台山藤源治遺跡					
菅ヶ谷台地					
持田遺跡					
殿ヶ谷遺跡					
成美学園遺跡					
三枚町遺跡					
西ノ谷貝塚					
矢崎山遺跡					
受地だいやま					
花見山遺跡					
梶山遺跡・梶山北遺跡					
東原遺跡					
宿根北遺跡					
薬師院裏遺跡					
末長遺跡					
影向寺遺跡					
新作小高台遺跡					
整理事業地内遺跡					
小山田遺跡群 No.12 遺跡					
日野吹上遺跡					
姥久保遺跡					
落川・一の宮遺跡					
太陽の丘遺跡					
和泉遺跡					
田中・寺前遺跡					
下神明遺跡					
喜多見陣屋遺跡					
三島野屋敷・下覚東南遺跡					
宮之原・相之原遺跡					
喜多見中通南遺跡					
喜多見中通西遺跡					
祖師谷大道北遺跡					
堂ヶ谷戸遺跡					
上ヶ給遺跡					

図6. 集落の継続

(遺跡名にグレーは前期の住居址が出土している遺跡)